

仁摩小学校での読み聞かせボランティア

2022/10/20 11/10

食と子ども系列 保育モデル

保育モデル（3年生）は、仁摩地区の読み聞かせボランティアの方や仁摩図書館のスタッフの方が仁摩小学校で行ってられる絵本の読み聞かせ活動（おはなしのとびら）に10月より参加しています。

10月6日の訪問時は、仁摩図書館のスタッフの方に相談して絵本を選びましたが、今回の訪問では、読み聞かせをする生徒がお気に入りの本をそれぞれ選びました。

10月20日の活動

「100万回生きたねこ」 佐野 洋子 作・絵 （講談社）

11月10日の訪問

「バムとケロのにちようび」 島田 ゆか 作・絵 （株式会社 文溪堂）



10月20日の訪問時は、1冊読み終わるのに約10分かかりましたが、1年生のみなさんは最後のページまで、じっくり耳を傾けてくれました。この絵本は、子どもだけでなく大人が何度読んでも味わいのあるお話です。これからもくり返して読んで欲しいと願いを込めてこの絵本を選びました。

11月10日の訪問時は、かわいらしい絵が特徴の絵本でした。手に持っている絵本の表紙を見て、すぐに題名をあててくれました。今回の訪問で3回目となり、1年生のみなさんも邇摩高生の訪問に慣れたようで、絵本を読み終わると積極的に感想を発表してくれ、嬉しく思いました。また、11月19日（土）に本校で開催される「邇摩高フェア」の紹介をすると、さっそく自由帳（ノート）を広げて、開催日時をメモしてくれました。読み聞かせ活動を通して邇摩高校を身近に感じ、同じ地域で学ぶ仲間として意識でき、交流ができたらしいと感じました。

次回は11月24日の予定です。どんな交流が生まれるか楽しみです。



「邇摩高フェア(11/19 開催)」についてポスターで紹介すると…

自由帳に「メモする！」という声上がり、黒板で大きく書いて紹介しました。